

6/16 **木**

「台湾」から見た中国
三須祐介氏（立命館大学文学部准教授）

台湾



家

族

6/23 **木**

「家族」から見た中国
周飛舟氏（北京大学社会学系教授）



6/30 **木**

SNSの中国における
現状と特色、及び
その未来について
胡泳氏（北京大学新聞与伝播学院教授）

SNS



民

族

中国の諸民族を知る
—民族問題の実際と
日本との比較
大西広氏（慶應義塾大学経済学部教授）

7/4 **月**



北京大学×立命館大学 連携講座

多彩な視点から中国を見る

2016.6/16 - 7/4

会場 | 立命館大学衣笠キャンパス 創思館カンファレンスルーム [6/16・6/23・6/30]
立命館大学衣笠キャンパス 洋洋館959 [7/4]

時間 | 16:30~18:30 (16:00~受付開始)

定員 | 100名 参加費 | 無料 [事前申込制] 定員に達し、ご参加いただけない場合は事務局よりご連絡差し上げます

[お問合せ] 立命館孔子学院 TEL: 075-465-8426 E-MAIL: koza@st.ritsumeji.ac.jp HP: <http://www.ritsumeji.ac.jp/confucius/>

講座の詳細・お申込は立命館孔子学院WEBをご覧ください。

立命館孔子学院

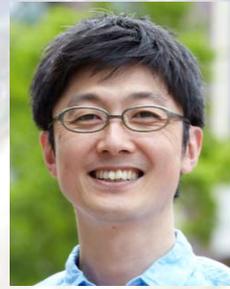
検索



1 6月16日 | 木 「台湾」から見た中国

日本語

「台湾」は、国際的にも非常に微妙なポジションにある存在である。その「台湾」から見た中国というテーマを考えると、台湾における「中国」という概念のゆらぎにまず眼を向ける必要があるだろう。戦後、「中国」から国民党と共にやってきた「外省人」は、台湾人にとって最も身近に感じられる「中国」だった。国民党の政策などの影響もあり、台湾は「中国」を内面化していくが、一方でさまざまな矛盾も生じている。とくに小説や映画といった文芸作品などをもとに、台湾から「中国」がどう見えるのかを、文化的な側面から考えてみたい。



三須 祐介

MISU Yusuke

立命館大学
文学部准教授

小説翻訳に胡淑雯著『太陽の血は黒い』、論文に「曲から劇へ—上海滬劇社という経験—」「明滅し揺らめく欲望—林懷民「赤シャツの少年」を読む—」等。

2 6月23日 | 木 「家族」から見た中国

中国語・逐次通訳

中国の伝統的な家庭観念と宗族観念は、「仁義」、「親親（親族を親しむ）」、「尊尊（地位の高い人を尊重する）」などの価値観に基づき形成されている。これらの観念は今でも中国の日常生活において重要な役割を果たしている。現代中国社会が高度経済成長により日々著しく変化している中、伝統的な家庭観念にも試練が待ち受けている。伝統的な家庭観念、宗族観念が薄れることにより、中国社会は倫理的な窮地および価値観の衝突に直面している。どうやってこの窮地から逃れるか、というのが今後の中国社会の安定と繁栄のカギであると考えられる。



周 飛舟

ZHOU Feizhou

北京大学
社会学系教授

主な研究分野は
中国社会発展、
中国伝統社会思想史。

3 6月30日 | 木 SNSの中国における現状と特色、及びその未来について

中国語・逐次通訳

WEB2.0時代の中国のソーシャルメディアは4つの段階を経験してきた：早期ソーシャルメディアの雛型BBS時代、余暇娯楽時代、微情報時代と垂直型アプリ時代である。中国のソーシャルメディアの特徴は四つ：第一に、C2C (Copy to China) 形式である。大部分のアプリは海外商品の「海賊版」ではあるが、中国国内のニーズにあわせた独創的なものも創り出している。例えば、微博はTwitterにマルチメディア機能とコメント機能を加えた、より中国の国情に適應したものとなっている。第二に、発展スピードの速さである。“ソーシャルメディア・インターネット世代”を作り出した。第三に、より多くの社会的責務を負っていることである。話題の社会的な問題により多くの影響を及ぼしている。第四に、過度なバラエティ化と外せない金づるである。今後の中国ソーシャルメディアは、モバイルへの移行、垂直型ソーシャル及びグループ化が、主な発展の趨勢となるであろう。



胡 泳

HU Yong

北京大学
新聞与伝播学院教授
政治学博士

中国通信協会常務
理事、情報社会研
究所学術委員会理
事長等。

4 7月4日 | 月 中国の諸民族を知る—民族問題の実際と日本との比較

日本語

中国の少数民族は55あるが、「民族の定義」は国によって、また民族それぞれに異なっている。そのため「民族とは何か」という原理的なところから始めて、中国の少数民族の定義と実際、文化的差異の淵源などについて解説する。この問題は「漢族とは何か」という問題とも関わるので、それへの言及も含まれる。

他方、中国の民族問題で重要なのは民族紛争であり、演者はこの問題を新疆ウイグル自治区やチベット自治区を中心に深めてきた。演者の結論はこの背景に少数民族の経済的地位の低さ(企業家階級の不足とも言える)があるというものである。この問題を統計的な角度から解説する。さらに、隠されているが、日本にも民族問題はある。それとの比較も合わせ行いたい。



大西 広

ONISHI Hiroshi

慶應義塾大学
経済学部教授
京都大学名誉教授

専門はマルクス
経済学、近代経
済学、統計学。

お申込方法

- ①HPフォームでのお申込 当学院HP内「受講申込フォーム」よりお申込ください。
- ②FAXまたは郵送でのお申込 下記の申込書に必要事項を記載の上、お送りください。
- ③E-MAIL 下記の申込書に記載されている**全て**の内容を記載し、送信ください。

お問合せ・お申込先

立命館孔子学院事務局 国際平和ミュージアム2階
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1立命館大学アカデミア立命21
TEL: 075-465-8426 FAX: 075-465-8429
E-MAIL: koza@st.ritsumeiji.ac.jp HP: <http://www.ritsumeiji.ac.jp/confucius>

2016年北京大学連携講座申込書

フリガナ	
氏名	
TEL	
FAX	
E-MAIL (PC)	
ご所属 ※任意	

▼受講日該当欄に○印をつけてください。

第1回	6月16日[木]	<input type="checkbox"/>
第2回	6月23日[木]	<input type="checkbox"/>
第3回	6月30日[木]	<input type="checkbox"/>
第4回	7月4日[月]	<input type="checkbox"/>
全4回を受講する		<input type="checkbox"/>